

昭和57年
1月1日
発行
(第94号)

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区虎の門3-24-7
(庚申ビル)
TEL 03-432-1089
発行責任者
星野 馨

日赤新労

綱 領

1. 吾々の権利を、吾々の自由と、吾々の進歩を、吾々の人道的任务を、

2. 吾々の権利を、吾々の自由と、吾々の進歩を、吾々の人道的任务を、

3. 吾々の権利を、吾々の自由と、吾々の進歩を、吾々の人道的任务を、



**明けまして
おめでとう
ございます**

本部役員一同

昭和五十七年度運動方針案を討議 第三回中央委員会開かれる

年の瀬を迎えた十二月十三、十四日の両日、徳川家康公の駿府城のひざもと、お茶とミカンで近く日本のシンボル、富士山がそびえる温暖な地、静岡市緑町「たちばな会館」に、全国各単組より中央委員、オブザーバー及び本部役員が出席のもとに、五十六年度第三回中央委員会が開催され、定期大会を一月後に控え、五十七年度新年度の活動方針案など重要議題が討議され、出席各委員の熱心、活発な審議がおこなわれ承認された。

議題

中央委員会の開催に先立ち、調査婦人の順におこなわれ十三日午前十時より十二時過ぎまで、賃金調査委員会が開かれ「昇格基準の見直し」をテーマとし日赤新労独自の給与体系の試案作りにあたり、仕事給要素を含めて検討することを確認した。

引続き午後一時三十分より、中央委員会に入り、先ず開会宣言、資格審査、成立確認ののち議長に武井重晴(豊橋血七)、副議長に川井規男(浜松日赤)、書記に紙本哲治(三原日赤)の三氏を選出し議事に入った。

川出富治中央執行委員長の挨拶の後各部報告が組織、教宣、

調査婦人の順におこなわれ、茨城血七単組員の昇格差別に因りての争議勧告書が取り上げられ、茨城県地方労働委員会より出された勧告により、組合側の全面勝利が報告され、単組、鹿島執行委員長よりその経過説明がおこなわれた。

他の各部報告についても若干の質疑の後承認された。

この後、中央書記長より一般経過報告がおこなわれたが、この中で特にいま実態が交わりの四週五休について質疑が交わされ、今後一層強力に本社に交渉すること承認された。

〇Ⅱ国内情勢の文中六頁「昨年六月一日」から七頁「論議がされるものと思われる」までを日赤の現状十五頁に盛り込む。

〇Ⅲ日赤の現状の血液センターの文中、「……目標をこえるまでになつてきている」及び「独立採算制の中において」を削除する。また、末尾の「対策が不十分、……問題となる」を



写真上は第3回中央委員会、同下は第2回婦人部代表者会議風景

④については、「早朝出勤者及び夜間の……」を改める。

〇「週休二日制と時間短縮」の文中④の項目を全面削除し、①の項の中に意味を含ませる。

〇Ⅳ「婦人部対策」の文中、四〇頁の「役割及び婦人の……」の「及び」を「即ち」と改める。

〇スローガンについては原案通り承認。

二、組合費値上げについて本部より提案説明があり、承認された。

三、昭和五十七年度予算案に「省略」を加え、前述の「昨年六月一日……」から「論議されるものと思われる」を加える。

〇諸手当

①の通勤手当の「増額」を、「金額支給」と改める。

賛成多数で承認された。

四、あんま師及びはり、きゅう、柔道整復師昇格について今後の本部交渉の場に一任すること承認された。

五、昭和五十七年度役員本部について

本部の考え方について中央執行委員長より説明があり、現婦人部長の退任による来年度の人員選について討議の結果、第二プロック大田原日赤単組として一応検討することとなった。

六、昭和五十七年度大会運営委員について

第十一回定期大会は五十七年二月十一、十二、二十三日、長野市を予定。

議長(三B)、副議長(四B)、書記(二B)、議事運営委員(二B、三B、五B)、大会宣言文起草委員(二B、四B、六B)、役員選挙委員(各B一名)、選挙管理委員(各B一名)、議事確認委員(鳥取日赤、盛岡日赤)

昭和五十七年度婦人部運動方針決める 第二回婦人部代表者会議

静岡市の中心街に近い、賤機山の麓の閑静な地にある「芙蓉荘」において十一月二十八、二十九日の両日にかけて、五十六年度第二回婦人部代表者会議が、部長より提案説明され、種々活発な討議の後、婦人部対策について原案通り、活動諸項目については「重症度に見合った看護婦増員」を二番目に、他に原案通り承認された。

今回の会議は併せて婦人部研修会も同時に開催され、講師に静岡婦人少年室長熊谷のり子氏を招き、「働く婦人の労働について」をテーマとして約二時間に亘り、婦人労働問題について講演が行われ、質疑を含め全員が熱心に聴き入った。

(別掲)

研修会に続いて会議に入り、議長に小原淑恵氏(鳥取日赤)、書記に丹羽恵多子氏(愛知血七)を選出した後、川出中央執行委員長挨拶があり、続いて中央書記長より前回の婦人部代表者会議以降、現在までの経過

静岡市の中心街に近い、賤機山の麓の閑静な地にある「芙蓉荘」において十一月二十八、二十九日の両日にかけて、五十六年度第二回婦人部代表者会議が、部長より提案説明され、種々活発な討議の後、婦人部対策について原案通り、活動諸項目については「重症度に見合った看護婦増員」を二番目に、他に原案通り承認された。

今回の会議は併せて婦人部研修会も同時に開催され、講師に静岡婦人少年室長熊谷のり子氏を招き、「働く婦人の労働について」をテーマとして約二時間に亘り、婦人労働問題について講演が行われ、質疑を含め全員が熱心に聴き入った。

(別掲)

研修会に続いて会議に入り、議長に小原淑恵氏(鳥取日赤)、書記に丹羽恵多子氏(愛知血七)を選出した後、川出中央執行委員長挨拶があり、続いて中央書記長より前回の婦人部代表者会議以降、現在までの経過

〇働く婦人の動き

一、働く婦人の動き

〇働く婦人数、三五四万人

〇雇う者全体の三分の一(第三)

次産業)〇三十五歳以上が過半数占める〇女子の役職昇進は限られている。

二、職場における男女平等をすすめるために

〇運動のねらい……社会一般が働く婦人の現状を認識するとともに、職場の制度や慣行を見直し、男女の差別的扱いがなければ解消に努力する。〇男女差別的定年、退職制の解消について定年が男子より早かったり結婚、妊娠、出産した場合は退職する等差別的制度のある企業数一八、六〇〇。内五十五年度迄の改善状況、差別的制度を廃止企業九、九〇〇、男女差別はあるが女子の定年年齢を五十五歳以上に改善した企業五〇〇、五十五歳未満でも何らかの引き上げを行った企業七〇〇、改善計画を作成した企業一、七〇〇。

〇同一労働における男女同一賃金について……男女同一賃金(労基法)初任給、賃金表、昇格、手当退職金等抵触の危険性あり。〇四年制大卒女子の活用をはじめとする婦人の就業分野の拡大について……四年制大卒女子については男子と等しく雇

56年度 新人研修会を開催

東西2ブロック(福島・岡山)で

紅葉の五色沼で学ぶ

東日本ブロック新人研修会(福島)

去る十月二十四、五日の両日、標題の研修会が充実した内容で開催されました。私も何もお世話することが出来ませんでした。一緒に行動させて頂き、その一部をご報告いたします。

福島県でも最も名高い会津磐梯の麓、五色沼湖畔に宿泊所を設けました。ご存じの通り、この周辺は、四季を問わず観光・スキー客でたいへんにぎわいます。そのせいか三十名程度の参加者と予想していたが、はるかに多数の申込みがあり、五十余名の宿泊は確保できましたが、他の十数名は断わらざるを得なかったとのこと。

さて、第一日は、秋たけなわで紅葉と湖と絶景の地に十何年ぶりの五センチの積雪にもかかわらず、欠席者一人も無く全員集合されました。

先ず、規約・協約を初めて本部役員の方の講義に、真剣でそのもので研修していました。

二日目 サイクリング20キロ

西日本ブロック新人研修会(岡山)

去る十月三、四日の両日に渡り、西日本新人研修会が岡山市小串「国民宿舎桃太郎荘」にて開催されました。

当地は風光明媚な瀬戸内海に面し、小豆島を左前方に望める小高い山腹に建つ見晴らしの良い場所です。

当日は川出中央委員長、松本副委員長、星野書記長、赤十字と労働組合(川出委員長)の意義ある講義の後、全員で新労働歌を合唱し、五時三十分研修会を終了しました。



熱心に勉強しました(東ブロック)

中止となりましたが、平地の方面に思い思いの自転車を運び、終点の東総社駅(二十一)に目ざして全員の元気を出発しました。

最後に、全体として、内容の濃い研修会となったので、「吉備津彦神社」があります。当日の案内役、岡山日赤支部の飯田氏、谷口さんによれば、吉備津彦をまつる古い社で、吉備路の起点となっているとの説明。社殿を拝見しただけで次の目的地、古備津神社へと向う。左手は小川、右手は一面黄金色の中を長い列をついて進む。途中全国でも珍らしい、牛の鼻を供養する「鼻ぐり塚」を通り、「吉備津神社」へ到着。深い森に埋もれたこの社は、檜皮葺の堂々たるもので、創建は古く「徳天皇の時代(四世紀初頭)」といわれ、吉備津彦をまつる現在の社殿は、一四二五年、足利義満の命により二十五年の歳月をかけて再建されたもので、大屋根の比翼入母屋造は国宝に指定されています。

去る十一月十四日、福島赤十字病院職員組合結成十五周年記念が、八十余名の組合員及び本部役員を始め来賓の出席を仰ぎ、盛大に開催されました。結成以来の組合活動を振り返り改めて組合の意義を認識すると共に、今後一層の団結と組織の強化を認識させられました。

組合結成15周年祝う

1411日 福島赤十字病院職組が

去る十一月十四日、福島赤十字病院職員組合結成十五周年記念が、八十余名の組合員及び本部役員を始め来賓の出席を仰ぎ、盛大に開催されました。結成以来の組合活動を振り返り改めて組合の意義を認識すると共に、今後一層の団結と組織の強化を認識させられました。

去る十一月十四日、福島赤十字病院職員組合結成十五周年記念が、八十余名の組合員及び本部役員を始め来賓の出席を仰ぎ、盛大に開催されました。結成以来の組合活動を振り返り改めて組合の意義を認識すると共に、今後一層の団結と組織の強化を認識させられました。



サイクリングで健康的な息ぬきも(西ブロック)

刻されています。ここで全員がカメラに取まり、一路終点へとひた走り。

午後十二時三十分、東総社駅に到着。全員晴天とサイクリングにより顔は赤く、多少疲れはあるものの、完走した満足感にあふれていました。

途中、ジュース一本だけ、また二時間という強行軍です。吉備路の歴史、自然に触れたい。吉備路の歴史、自然に触れたい。

*** 知って楽しい ***
*** 言葉のルーツ ***

「おあいそ」
ところが、このおあいそは、最初はその人が、勘定書きを渡すときに使ったものだったので、もともと「愛想尽かしをする」とは、歌舞伎のなかで、本心とは裏腹に男と縁を切ることをいいます。

そこから勘定書きを出すときに「愛想尽かしなことです」との店の人が客にいうようになったのです。こういういい方のほうが、「お勘定です」というより柔らかい感じがするのです。

また、勘定書きを出すとき、客がいやがって愛想を尽かすことから、「おあいそ」といったという説もありますが、どちらにしても客商売のデリケートさがうかがえます。

(日本語がわかる本)

輝く白銀の世界へ

位山国際スキー場へのご案内

名古屋第一赤十字病院
従業員組合青年婦人部

雪と河と山のハローニーの美しさは、自然の生み出した造形物の傑作であり、神秘の世界でもかと思いませんか。

「一備中国分尼寺」、「吉備路郷土館」、「こもり塚古墳」を通り、「備中国分寺」へ到着。

この寺は七四一年聖武天皇が建立した国分寺の一つで、当時は東西一六〇尺、南北一八〇尺という広大な規模ですが、兵火に罹り焼失。その後、江戸末期に再建された。この寺は、吉備津彦命が護り化けてその鯉を喰い殺した所として知られています。

何故かこの社、釣鐘がある。そこでゴーンと一突き。次の目的地、鯉の池へ到着。

この池は、吉備津彦命が護り化けてその鯉を喰い殺した所として知られています。

その後、各組合員の地道な努力により、組合員も増加し、活動も一歩一歩前進してあります。

その後の、組合員の地道な努力により、組合員も増加し、活動も一歩一歩前進してあります。

残り酒の利用

かんざましの残り酒は、みりんの代用になります。酒コップ一杯に対して大サジ三杯の砂糖を入れて火にかけて、よく溶けたら火をとめ、化学調味料を少々加えます。料理の仕上げに、みりんの代用で使えますが、びんに入れてしっかりと密封し、変質を防ぐため、冷蔵庫に入れておきます。

ありませぬ。自然の心にかえり、奥飛騨地方の民宿でアファニスキーを楽しむ、相互の新陳代謝を促す新しい友情の交換を目的とし、(書記長・遠藤新一)